

令和元年度 「一日研究員体験」 アンケート集計結果

【選択式回答】（研修参加者：1年生17名，2年生1名）

- (1) 新たな疑問点が見いだされ、問題意識を感じる事が出来たか。
- (2) 知識を活用して問題点や疑問点を深く追究すること（探究すること）が大切であると感じたか。
- (3) 知識を共有するために他者とコミュニケーションを取る必要があると感じたか。
- (4) 「一日研究員体験」に参加して、探究することに対する自分の気持ちや考えが大きく変化したか。
- (5) 「一日研究員体験」に参加したことで、課題研究への意欲が湧いてきたか。【1年生】
- (6) 「一日研究員体験」に参加したことで、課題研究に参考となることが見つかったか。【2年生】

	強くそう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(1)	13	5	0	0
(2)	18	0	0	0
(3)	18	0	0	0
(4)	13	5	0	0
(5)	13	3	1	0
(6)	1	0	0	0

（単位：人）

【記述式回答】（抜粋）（研修参加者：1年生17名，2年生1名）

「一日研究員体験」に参加して、探究することに対するあなたの気持ちや考え方の変化を具体的に記しなさい。

- ・4月の「探究活動ガイダンス」の内容の発展したことが学べて良かったと思いました。人間の心を知るために、チンパンジーなどの霊長類の認知機能を調べるという研究の方針から、自分がいずれ研究活動するときにも、目的の生物や現象だけを調べるのではなく、関連する違うものを観察して、別の視点からも発見を得ようとするのが、研究を深めるために必要なのだろうと感じました。モンキーセンターで実際にリスザルの行動について仮説を立てて、検証するときでは、とても短い時間の中で、行動観察の基礎を教えてもらい、その場で初めて話すグループの仲間と仮説を立てて、観察結果を発表することなんてできるのか？と思っていたため、意見を共有して、いくつものデータを挙げることで、短時間の探究活動でも興味深い結果が出て、それを発信することができたのがとても驚きで、自分の中の「研究」という固いイメージが解けたように感じました。 （1年女子）
- ・春の松沢先生からの話から、さらに深いお話を聞くことができました。何よりも実際にチンパンジーが数字の画面をタッチしているのを見ることができたことが、大きな刺激になりました。実際に見ることで、新たな疑問が生まれ、それについて質問することもできて、すごく有意義な時間になりました。モンキーセンターでは、初めて長い時間観察をしました。実際にそこから様々な特徴を見つけて研究の結果として発表することがすごく貴重な体験になりました。 （1年女子）

- ・今までは探究とは実験（今回でのフィールドワーク）が一番重要だと思っていたが、今回の体験で意外にも自分が二番目・三番目に捉えていた仮説が大切である、ということがわかった。また、仮説の例のところに「～だから…するのではないか」と書いてあるのが印象に残った。僕は今まで「課題探究基礎（MC）」でも「なんとなく、こう思うな」ということを仮説にしていたため、当たり前かも知れないが、仮説に具体的な理由を実験前につけるのが新鮮だった。自分の班でも途中、理由があいまいになってしまい、同じ結果をみても、異なる意見を持つ人が出現したので、仮説の理由は大事だと思った。

（1年男子）

- ・今まで探究するという事は、どういうことかあまりよく分かっていなかったけれど、実際にチンパンジーを研究している研究者の方に会って話をしてもらおうと疑問という言葉がとても多く出てきました。「なぜ～になるのか」「どうして、このようになるのか」などだ。私は何だろうと考えることが、ここまで重要なことだと考えていなかった。モンキーセンターでは、実際に研究者のように自分たちで仮説を立てて検証して結果をまとめるという実体験を通してすることができてとても面白かった。そして、探究活動に必要な姿勢を学べたと思う。

（1年女子）

- ・僕は実際の研究所が、どのようなものなのかということと、4月に松沢先生の話聞き、実際にその研究をみてもっと深いところまで知りたいと思い参加しました。今回の体験で今も分かっていなかったことがたくさんあり、そう簡単には結論がでないという研究の難しさを実感しました。また、全ては疑問に思ったこと、知りたいと思ったことから始まっているということも強く感じました。身近なところから疑問点を見つけ考えることを実践していきたいと思います。また、このチンパンジーとヒトの心の違いを含め、生物の生態にますます興味がわきました。

（1年男子）